

令和8年8月 香美町教育委員会（定例会）会議録

【開会・閉会の年月日】

令和8年8月24日（月）午後1時30分～午後2時45分

【場所】

香美町村岡地域局3階 301会議室（香美町村岡区村岡390番地の1）

【会議に出席した者の職・氏名】

教育長	前田 毅
教育委員	多田 好江
	田路 一成
	上田 美登里
	石田 雅也
事務局	
教育総務課長	山田 貴広
こども教育課長	井上 修三
生涯学習課長	田中 利彦
教育総務課参事	清水 幸信
こども教育課参事	上田 智康
こども教育課副課長	今西 勝彦
こども教育課副課長	谷原 恭子
教育総務課総務係総括係長	宮脇 秋子

【会議に欠席した委員の職・氏名】

なし

【議事日程】

会議に付した事件も、同じく別紙議事日程のとおりである。

1 開会

（教育長）開会宣言

2 会議録署名委員の決定

（教育長）会議録署名委員に多田委員を諮り、全員承認

3 会期の決定

（教育長）会期は本日1日限り

4 会議録の承認

前回会議録を会議に諮り、全員承認

5 教育長報告

7月22日から8月23日までの期間（前回の教育委員会～昨日）に開催、出席した会議・行事などについて資料により報告した。

6 議事

(1) 議案第18号 香美町放課後児童クラブ管理規則の一部を改正する規則を定めることについて

（こども教育課長）

規則改正の趣旨及び内容について説明

- ・放課後児童クラブを利用する子どものうち、幼稚園児の利用料は、香住幼稚園の預かり保育事業の基準に準じた扱いをしており、1か月の利用料の基本額は月7,000円とし、その基本額から利用した日数に応じ1日当たり450円を控除した額を月の負担金として保護者から徴収をしている。
- ・国の子ども・子育て支援法施行規則の改正に伴い、控除する1日当たりの額を490円に改める。
- ・施行日は、令和8年10月1日からとする。

<議案第18号 質疑なし>

（教育長）

議案第18号を会議に諮り、全員異議なく可決

(2) 議案第19号 香美町実費徴収に係る補足給付事業実施要綱の一部を改正する要綱を定めることについて

（こども教育課長）

要綱改正の趣旨及び内容について説明

- ・特定教育・保育施設（幼稚園・保育所・認定こども園）を利用する子どもの保護者のうち、低所得で生計が困難である家庭の子どもの保護者を対象として、入園・入所施設で使用する日用品、文房具等の購入に要する費用及び行事への参加に要する費用の一部を支給している。
- ・国の実費徴収に係る補足給付事業実施要綱の改正に伴い、補足給付費の限度額を月額2,800円に改める。
- ・施行日は公布の日からとし、令和8年4月1日から施行する。

<議案第19号 質疑なし>

（教育長）

議案第19号を会議に諮り、全員異議なく可決

7 事務局報告

(1) 教育総務課

○令和8年度香美町教育委員会の点検・評価（外部評価結果）について

・・・報告者：教育総務課長

- ・6月定例教育委員会の後、教育委員の皆さんからいただいた意見を事務局で整理し、必要に応じて報告書案に反映した。

- ・ 7月16日（火）に外部評価委員会を開催し、基本方針ごとの総合評価と成果・課題、及び今後の方向性と取組について担当課長から説明を行った。説明後、外部評価委員から各基本方針の取組内容、数値目標の達成状況、課題への対応方針等について意見や提言をいただき、これらを踏まえて最終版を作成した。
- ・ 数値目標の達成状況について、各基本方針の取組は概ね適切に進められており、多くの指標で目標値に近い実績が上がっている。令和8年度は第2期教育振興基本計画の最終年度となるため、5年間の成果と課題を整理し、第3期計画策定に向けた検討をお願いしたいという意見をいただいた。また、次期計画における評価の指標の整合性の検証と評価事項の表示方法の改善などについて指摘があった。
- ・ 9月に議会へ提出し、ホームページで公表を行う。

○第3期香美町教育振興基本計画策定委員会について

- ・ 現在の第2期計画が今年度末で期間が満了することから、令和9年度からの5年間における本町の教育の方向性を示す第3期香美町教育振興基本計画を策定するため、第1回委員会を8月17日（月）に開催した。
- ・ 委員の構成は設置要綱に基づき15人以内と定められているところ、学校教育関係者、幼稚園・保育所関係者、PTA・子ども会代表、社会教育関係者、学識経験者、地域住民の代表など12人の委員で構成する。
- ・ 全体のスケジュールについて、令和7年度に実態把握としてアンケート調査を実施し、令和8年度に計3回の策定委員会を開催して計画案を取りまとめる。その後、パブリックコメントを経て、教育委員会に諮り、議会へ報告、ホームページで公開という流れで進める。
- ・ 昨年の夏から秋にかけて実施したアンケート調査は、小中学校児童・生徒、教職員、保護者、一般町民の皆さんを対象に実施し、全体として高い回収率となった。児童・生徒の学校が楽しいという肯定的な傾向や、教職員の高いやりがいを確認できた一方、スマホやタブレットの使用時間の増加、教職員の多忙感、一般町民に対する学校情報の周知不足などの課題も浮き彫りとなった。これらの結果を次期計画の基礎資料として活用していきたい。
- ・ 計画案の構成について、「はじめに」「目次」の次に、第1章の「計画の策定にあたって」では、計画の趣旨、計画の期間と性格、計画の推進、計画の進行管理、計画の位置づけを、第2章の「香美町の教育の現状」では、第2期の計画の検証、めざす町の姿と求められる人づくり、学校園を取り巻く状況、子どもたちの現状としてアンケート結果を記載している。第3章の「香美町の教育がめざす姿」では、国の第4期教育振興基本計画や県の第4期ひょうご教育創造プランの計画を参酌しつつ、基本目標として「ふるさと香美に愛着と誇りを持ち、夢や志を育み、共に活力ある未来を創造する人づくり」を掲げ、基本目標の実現に向けて、計画の体系表、めざす教育の方向性と基本方針として、「予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進」「すべての子どもたちが自分らしく安心して過ごせる学校・家庭・地域等の構築」「安心・安全で質の高い学びを実現する教育環境の整備・充実」という三つの教育の方向性に沿って具体的な施策の取組を記載している。
- ・ この会議でいただいた主な意見として、公民館関係者等の社会教育関係者にも委員に加わってもらふべきではないかという意見があり、それを受けて香住区中央公民館の館長を新たに委員に加え、次回からは13人の委員で構成したいと考えている。また、計画の期間や柔軟性について、5年間の計画期間の妥当性を確認しつつ、社会情勢の変化や次期学習指導要領の動向を視野に入れ、柔軟かつ実効性のある運用を求める意見をいただいた。その他には、「誇り」という言葉の意図の確認であったり、保育の文言の検証、地域や公民館の力を生かしたふるさと教育の充実、コミュニケーションや文化財のアーカイブ化の重要

性などについて意見をいただいた。最後にオブザーバーである廣岡先生から、次期学習指導要領を見据えた計画作りについて、香美町は総合計画との兼ね合いで、他市町より計画の策定が1年ずれるため、新しい計画の3年目から次期学習指導要領が始まることになり、国や県がまだ方針を出していない段階での先進的な取組となるため、どこかで次期学習指導要領の動向を踏まえた内容や工夫を計画に盛り込むようにという提案をいただいた。

○第6回香美町村岡区小学校等再編検討委員会について…報告者：教育総務課参事

- ・第6回委員会を7月22日に開催し、校歌及び校章の選定方法について協議を行った。
- ・校歌の選定方法について、①現在の村岡小の校歌を使用する、②現在の校歌を変更して使用する、③作詞のみを公募して作曲は専門家に依頼する、④作詞作曲を一括して公募する、⑤作詞作曲を一括して専門家に依頼する、⑥作詞作曲を別々に専門家に依頼するという6パターンについて委員から意見をいただいたが、これとは別の案として、旧村岡町の町歌を変更して使用するという案が提案された。集計を取ると、①を支持される方が5人、②が2人、③④⑤がそれぞれ1人、⑥はなし、新たに出てきた旧村岡町の町歌を変更して使用するという案が4人となった。この結果について協議をし、現在の村岡小の校歌を使うか使わないかという部分について、①と②は現在の村岡小の校歌を「そのまま使う」と「変更して使う」ということで、村岡小の校歌を使用するところに区分される。それ以外の意見とこの①②とが、7対7で同数となっていること、旧村岡町の町歌を変更して使用するという案については、意見集約の対象としてきていない団体もあることから判断が難しいということで、意見のなかった⑥番を除外し、新たに出てきた旧村岡町の町歌を変更して使用するという案を加えた6つの案で、再度意見集約をして次回協議をすることになった。
- ・校章の選定方法について、①現在の村岡小の校章を使用する、②現在の村岡小の校章を変更して使用する、③デザインを公募する、④デザインを専門家に依頼するという4つのパターンについて委員から意見をいただき、①が6人、②がなし、③が7人、④が1人という結果となった。その結果を協議し、最終的に最も多かった③のデザインを公募するという方向で進めて良いかどうか確認をさせていただき、校章についてはデザインを公募することになった。
- ・次回は、校歌について選定方法を再協議し、校章については応募資格など募集要項の内容について協議をしていただく予定にしている。また、閉校式の日程について、令和10年3月25日（土）、3校を順番に実施するという提案をし、この日程で良いかどうか、それぞれの校区で相談してきていただいて次回回答をいただくこととしている。

【質疑・意見等】

（田路委員）

町歌を変えて校歌にしたいという方が4人おられると言われましたけど、そのようにしたい理由は何かあったのでしょうか。

（教育総務課参事）

村岡小学校の現在の校歌は、今の村岡区の村岡を歌った歌なので、兎塚や射添を表したような内容が出てこないが、旧村岡町の町歌は一番から三番まであって、それぞれ村岡・兎塚・射添を歌った歌になっています。昔は子どもから大人までみんなが口ずさんでいた歌で、みんながあのメロディーをよく覚えているということもあり、歌詞の内容を学校教育にふさわしいものに変えれば、校歌として十分使えるものになるというのが提案された方の発想です。

(田路委員)

校歌を考えると参考にするのはいいと思いますが、それを持ってきて校歌にするというのは、また別の意見もあるかもしれないなと思いました。

(2) こども教育課

○香美町部活動地域展開住民説明会について…報告者：こども教育課長

- ・今週から3会場で実施するため、改めてお知らせする。8月26日(水)小代会場、9月2日(水)香住会場、9月3日(木)村岡会場で、それぞれ19時30分から開催する。

(3) 生涯学習課・・・報告者：生涯学習課長

○全国高等学校総合体育大会(インターハイ)登山大会(報告)について

- ・8月6日(木)から10日(月)の日程で開催され、6日に開会式、7日から9日は登山競技、10日に閉会式を行った。7日と8日は登山を行ったが、8日夜に豪雨となりキャンプ地から体育館に避難したため、翌日の登山開始が遅く日中の気温が高くなるため、9日の蘇武岳登山は中止になった。
- ・9日の登山中止により、村岡ファームガーデンに各校が20分ずつ滞在することになり、20人近くの一般町民の方が出迎えて生徒と交流をもった。
- ・村岡高校の生徒は開会式のオープニングアトラクションに出演したり受付に従事をしたりしており、また、地元の山に詳しい有志の方には安全対策委員として登山に同行していただいた。香住病院医師も登山行動に帯同していただき、生涯学習課は現地の確認を行った。

○WMG2027 関西オリエンテーリングリハーサル2日間大会(報告)について

- ・7月11日(土)・12日(日)の2日間の予定でリハーサル大会を実施した。11日が香美町の佐津海岸でスプリント競技、12日が養父市のハチ高原でフォレスト競技を実施し、1日目は157名、2日目は178名の参加があった。
- ・今回の大会スタッフは生涯学習課総動員で従事したが、本大会では1日当たり約200名、競技団体と香美町でそれぞれ約100名のスタッフが必要になり、役場だけでは担うことができないので、ボランティアスタッフを一般公募したい。

○図書事業について

- ・夏休み親子読書感想文教室

8月6日(木)に香住区中央公民館で、7日(金)に村岡区中央公民館で開催した。対象は小・中学生と保護者で、香住区では定員の20名にほぼ達したが、村岡区では数名程度の参加になった。

- ・公民館図書室の利用促進

予算を使わずに読書をする人を増やす方法を立案をしたので、随時これらを実施していく。具体的には、手書きPOPの活用、貸出上限(10冊)の緩和キャンペーン、「今返ってきたばかりの本」コーナー、「リサイクルブック(古本市)」の常設、「本の福袋」企画、「誰も借りてくれてない本(眠っている名著)」展示、雑誌の付録プレゼント・抽選会、移動図書館車の商業施設での平日運行。

【質疑・意見等】

(多田委員)

「おやこ de 読書感想文教室」について、昨年度からされている取組ですが、今年度、香住

区中央公民館の司書さんに了解いただいて、少し覗かせていただきました。とてもいい試みだと思いますし、これからもぜひしていただきたいと思います。講師さんによる本の紹介はとてもお上手ですし、いい本を紹介して下さいますが、具体的な読書感想文の書き方というところになると、参加している子どもたちが、これから本を選ぼうという子ども、既に本は決めているけどどのように書けばいいか分からない子ども、ある程度感想文を書いていて、それをこれからどのように変更していったらいいのかといういろんな段階の子どもさんがいて、講師さんや司書さんたちが回っていますが、人手が足りないために子どもたちのニーズに応えられていない。やり方として、全体の会があった後で、それぞれのニーズに合わせたグループごとに講師さんや司書さんでもいいですし、ボランティアでもいいですから、入っていくような形にされたらいいのにとことは思いました。いい試みなのに、ちょっとばらけてしまうなということを感じました。

それから公立図書館の利用促進ということで、新しいアイデアがたくさん出て、素敵だな、なんか飛びつきたいなと思うことがいっぱいあります。前回の司書さんもそうでしたけども、今、司書さんが学校にも入って、図書室のリフォームだとか、図書の並べ方だとか、いろんな指導もしていただいて、今年度は昨年からはじめていただいている課題図書についてのブックトークもしていただいて、昨年は1校だったのが、今年は2校も3校も入って下さっています。本当にフル回転でされて大変だなと思いながら見ていますけれども、点検・評価のところにも書かせていただきましたが、学校司書という方を入れるという方法、点検・評価ではまた検討しますというふうに回答をいただいていますけれども、ぜひ考えていただけたらと思います。

(生涯学習課長)

読書感想文の教室は、多田委員の言われた通りであると思いますので、募集の段階でやりたいことの絞り込みをして、ニーズに合った教室が開催できるよう修正をさせていただきたいと思います。学校司書の関係につきましては、また検討はさせていただきたいと思っています。

8 その他

○新規外国語指導助手（ALT）の着任について

- ・7月末をもって香住小学校及び香住第一中学校で勤務していた2名のALTの契約が終了したため、後任として新たに2名のALTが着任した。

○日本画家 西田真人展について

- ・9月5日（土）から11月3日（火・祝）まで県立円山川公苑美術館で開催される。

○9月の定例会について

日時：9月25日（金） 午後1時30分～

場所：村岡地域局3階 301会議室

○10月の定例会について

日時：10月26日（月） 午後1時30分～

場所：村岡地域局3階 301会議室

9 閉会

香美町教育委員会会議規則第30条の規定によりここに署名する。

令和8年8月24日

教育長 前田 毅

香美町教育委員会 署名委員 多田 好江

会議録作成者：教育総務課総務係 総括係長 宮脇 秋子